

■星の子の活動

対外活動

県内各機関への働きかけ
公的機関との連携活動
講演会・学習会
全国LD親の会の会員活動
他の親の会・団体との交流
E・ぱかクラブ(カヤックと乗馬活動)
など

会員活動

おしゃべり会(つくば・県南・県西・県央県北
オンライン)
学習会(自律・生活、就労、障害者年金)
お泊りキャンプ・バーベキュー
青年のつどい 青年交流レク
「まつりつくば」出店 女子会
釣り&バーベキュー ゲーム大会
Eポート大会 など

●おしゃべり会

悩みや思いを共有できる仲間と、時を忘れて語り合うひとときです。
つくば(毎月)、県西、県南、県央県北地域で開催されます。
ZoomやLINE等を使用したオンラインでも開催しています。

●学習会

発達障害の情報、ペアレントトレーニング、就労、
障害者年金、自律生活、法律、制度など、
さまざまなテーマで学習会を開催。講演会など
の公開イベントも不定期に行っています。

●余暇活動

青年・子どものキャンプやレクリエーション、E・ぱか
クラブ、青年の集い(当事者活動)、まつりつくば出
店(就労体験)、Eポート大会出場など。

●行政への働きかけ

発達障害への理解を深め、幅広い協力を社会に
訴える活動。県の教育・就労・生活関連部門、また
文科省・厚生省などへの働きかけも行っています。

入会ご希望の方へ

星の子会員には【会員】【賛助会員】の2種類があります。
いずれも入会金はなく、毎年の総会(6月頃)で更新となります。

【会員】

茨城県在住で、発達障害のあるお子さんをお持ちの保護者が対象
です。会員は家族単位で、該当のお子さんが複数の場合も一家族
で一会員とします。年会費は6,000円(※)です。

※NPO法人全国LD親の会年会費1,000円を含みます。

※年会費は、コロナ禍等においては減額する年もあります。

※年度途中の入会は、入会月により年会費の対応が異なります。

6月から12月:年会費と同額

1月から 3月:年会費の半額

4月から6月(総会前迄):無料(ただし次年度の会費を前納すること)

【賛助会員】

星の子の趣旨に賛同し、会の活動を支援して下さる個人および
団体が対象です。年会費は10,000円です。

※茨城県在住の発達障害児者や保護者は賛助会員の対象となりません。

入会申込みは、星の子ウェブサイトの入会申込フォームより承ります。
サイト内に会員規約も掲載していますので、ごらんください。

星の子ウェブサイト

<https://hoshinoko-ibaraki.net/>

お問い合わせ先

E-mail: info@hoshinoko-ibaraki.net

星の子へのおさそい



星の子は、LD(学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症)、ASD(自閉スペクトラム症)など発達障害のある子どもを持つ親の会で
す。私たちは、このような子どもたちが多くの問題を乗り越え、一人
ひとりが自立できる人間として成長して欲しいと願っています。

星の子の活動は、子育て・教育から就労・生活自立まで幅広い
テーマに沿って、すばる(中学まで)という(中学卒業後)の世代
別グループに分かれて行っています。また、世代を問わない地域
ごとの交流・活動も活発です。

茨城LD等発達障害親の会 星の子



■発達障害とは？

LD(Learning Disabilities=学習障害)、ADHD(Attention Deficit Hyperactivity Disorder=注意欠如・多動症)、ASD(Autism Spectrum Disorder=自閉スペクトラム症)などの総称で、いずれも脳機能の障害と考えられています。

ただ、自閉症がスペクトラム(連続体)といわれるように、発達障害の特徴や困り感は診断名で厳密に切り分けることはできません。ひとことで言うなら、「一人ひとりがそれぞれに異なる」ことが発達障害の特徴と言えるでしょう。また、「得意と不得意の差が大きい」ことも多く、得意分野にはきわめて高い能力を有する人もいます。

適切な環境と支援によって、得意を活かし、不得意を支えることで、発達障害のマイナス面を減らしていくことは可能です。そのためには、社会全体が発達障害への知識と理解を深め、個々のニーズに応じた支援を実現していくことがとても大切です。

■成人・青年期では…

仕事が続かない。

得意な事と苦手な
事の差が激しい。

物事の優先順位
がつけられない。

特定の音、臭い、感
触、味、光、人ごみな
どが、極端に苦手。

先の事の予想や
イメージがでにくい。
(初めての場面(場
所・人)が苦手)

みだしなみが
気にならない。

場の雰囲気わから
ず、自分の言いたいこ
とを一方向的に話す。



一度に多くの事を言われるとパニックになる。

妙に正義感が強く
融通がきかない。

暑さ寒さに鈍感。

自分のスケジュー
ルやパターンをか
たくなに守ろうとす
る。

整理整頓が苦手
で忘れ物や紛失が
多い。

冗談や皮肉が
通じない。

特定のモノやこと
に強いこだわりが
あり、興味が偏っ
ている。

身勝手な言動が
多く、対人トラブル
が絶えない。

私語やひとり言
が多い。



集団行動のとき、一人だけ違うことをしている。

自分の関心のある
ことは一方的に
まくし立てるのに、
人の話は聞かない。

読みにくい字を書く。

ものの場所や手順、
道順などが変わる
と落ち着かない。

困っていませんか？

性格や親のしつけが悪いわけではありません。
やり方や関わり方に発達障害の視点をもつことで、
本人もまわりの人もラクになることも多いのです。



とにかくジッとしていない。

1人で遊んでいるこ
が多い。

宿題や約束をすぐ
忘れる、すっぽかす。

計算に極端に時間
がかかる。

成績は悪くないのに、
聞く、話す、読む、書
く、計算など、特定の
ことが極端に苦手。

指されないのに発言。

面と向かって話して
いるのに、どうも
聞いてない感じ。

■幼児・学齢期では…



星の子のあゆみ(敬称略)

●1990 茨城県学習障害児・親の会「星の子」発足、発足記念講演会:上野一彦(学芸大) ●1991 第1回総会講演会:二上哲志(伊豆通信病院)、LD学習会:前川久男(筑波大)、LD講演会:下司昌一(宇都宮市教育センター) ●1992 高学年集会「親が語る会」森永良子(百合女子大)、学習会:依田十子(千葉大) ●1993 講演会:大田堯、県教育庁へ要望書(高校入試制度)提出、サマーキャンプ開始、進路学習会:牟田悦子(横浜市養護教育総合センター) ●1994 子育て体験発表会:助言 前川久男(筑波大)、筑波山登山 ●1995 子育て体験発表集「星の子たちのあしあと」発行、講演会:鬼頭美也子他(見晴し台学園)、県庁へ要望書提出、交流会:寺島修(県障害者職業センター)・藤本健(親の会けやき) ●1996 茨城県中小企業家同友会懇談会、LD講演会:前川久男(筑波大) ●1997 子育て体験発表会、朝日福祉講演会:上野一彦(学芸大)・中川克子(ナカワクリニック)、県教育庁へ要望書提出、LD講演会:篠原吉徳(筑波大) ●1998「大好きいばらき県民運動活動奨励団体」表彰、就労学習会:植村勝(尚恵学園)・木村武浩(ハローワーク) ●1999 ういずとすばるの世代別に分ける、講演会:大石幸二(明星大)、連続学習会:加藤哲文(つくば国際大)、県教育委員会懇談、交流会:杉山雅彦(筑波大) ●2000 第10回総会記念講演会:上野一彦(学芸大)・カニング・ム久子(米国) ●2001 講演会:梅永雄二(明星大)、つくば市自主企画講座:宮本信也(筑波大)・湯汲英史(王子クリニック)・前川久男(筑波大) ●2002 県教育庁等訪問・懇談、LD等発達障害懇話会会合(座長:前川久男筑波大教授) ●2003 県障害者教育推進会議出席 ●2004 県発達障害者支援センター訪問 ●2005「茨城LD等発達障害親の会 星の子」へ名称変更、県発達障害者支援体制整備検討委員会参加、障害者就業・生活支援センターなまき連絡調整会議参加 ●2006 NHK・ハートフォーラム主催 勉強会:大六一志(筑波大) ●2007 JDDネット茨城発会(事務局星の子他) ●2008 講演会:上野一彦(学芸大)、特別支援教育セミナー・シンポ:阿部利彦(所沢市健やか輝き支援室)・神山忠(岐阜県立関特別支援学校) ●2009 県発達障害者支援連絡協議会(以降毎年)、講演会:梅永雄二(宇都宮大) ●2010 20周年記念総会・シンポ 20周年記念連続講座(①副島洋明 ②県発達障害者支援センター、県障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターなまき) ●2011 成年キャンプ開始、青年の集い開始、発達障害者の勉強会(井川三千子)開始、性講座(菊池春樹) ●2012 イトコサガシワークショップ、つくば発達障害就労支援協議会参加 ●2013 WISC/WAISセミナー:大六一志(筑波大)、「茨城に障害のある人の権利条例をつくる会」参加、WISC/WAISセミナー第2弾:大六一志(筑波大)、県ペアレントメンター養成研修参加開始 ●2014 県福祉団体等支援事業費補助金交付初年度、娘達のスモールステップ女子会開始、ワークショップ:両川晃子(信州大)、イトコサガシ体験会 ●2015 映画「みんなの学校」自主上映会、講演会「発達障害者の感情コントロール力を育てる支援方法」:新井英靖(茨城大) ●2016 講演会「発達障害者の就労・自立の為に—今、キャリア教育を考える」:松為信雄(文京学院大学)、ペアレントトレーニング講座5回:小林純子(リセンスラボ) ●2017 平成29年度茨城県表彰 社会福祉の増進功績団体表彰受賞、ペアレントトレーニング講座6回:小林純子(リセンスラボ) ●2018 ペアレントトレーニング講座6回:小林純子(リセンスラボ) ●2019 講演会「こどもの発達で「あれ?」と思ったら」:中田千絵(つくば市障害福祉課)、星の子チャレンジ3回(星の子×筑波大学学生団体ぱびよん)、キャリアネットワーク会議(星の子事務局) ●2020 コロナ禍のため対外的な活動は中止、星の子30周年記念誌の発行 ●2021「成年後見人制度について学ぼう」:根本信義氏(筑波大学教授、弁護士)、不登校・多様な学びネットワーク茨城参加(以降毎年) ●2022 ハローワーク勉強会(以後、毎年開催)、障害年金勉強会:田口英子(社会保険労務士)、講演&コンサートどうして、まわりとうまいかわからないの? ピアニスト野田あすかと母の40年:野田恭子・野田あすか ●2023 グループホーム見学会、宇野彰先生LD勉強会、協同労働説明会